

各 位

会社名 株式会社 クレスコ
 代表者名 代表取締役社長 熊澤 修一
 (コード番号: 4674 東証第一部)
 問合せ先 取締役グループ経理財務担当
 山田 則夫
 (TEL (03) 5769-8011)



業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年9月17日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	13,030	160	330	30	2.49
今回修正予想 (B)	13,150	270	490	130	10.81
増減額 (B-A)	120	110	160	100	—
増減率 (%)	0.9	68.8	48.5	333.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	13,989	659	778	53	8.57

2. 平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	11,400	240	450	170	14.14
今回修正予想 (B)	11,600	390	640	90	7.49
増減額 (B-A)	200	150	190	▲80	—
増減率 (%)	1.8	62.5	42.2	▲47.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	12,265	645	783	80	13.01

3. 修正の理由

リーマンショック以降、案件の急激な減少に伴う待機要員の増加に加え、受注単価の引き下げ要求による売上総利益率の低下などの影響で当社企業グループの経営環境は厳しい状況にあり、中間期はその影響が顕著でありました。しかし、第3四半期後半以降、案件の引き合い、商談・提案件数が徐々に増加し、第4四半期は、要員の稼働率の改善およびコスト削減策も相まって、当期末の営業利益および経常利益が予想を上回る見込みとなりました。よって、平成22年3月期通期の連結業績予想および個別業績予想を修正いたします。

◆連結業績について

子会社業績は、クレスコ・イー・ソリューション株式会社業績予想を下回るなど、厳しい状況でしたが、個別業績(クレスコ)の影響により、営業利益、経常利益、当期純利益とも増加する見込みです。

◆個別業績について

中期経営計画の重点方針であるエンドユーザーフォーカスを目標としたビジネス系ソフトウェア開発事業において流通分野の案件が伸張した他、組込型ソフトウェア開発事業において、携帯端末ならびにカーオーディオ分野の稼働率が高まり、営業利益、経常利益とも増加する見込みです。なお、子会社のクレスコ・アイディー・システムズ株式会社に対する貸付債権につきましては、回収時期等を慎重に検討した結果、今期末において貸倒引当金繰入額1億84百万円を特別損失として計上することといたしましたので当期純利益は減少する見込みです。

※上記の予想は、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

※平成21年4月1日付で株式1株につき2株の割合で分割を行っております。

以 上